

修了証明書・科目履修証明書の記入例（区分D）

・「修了証明書・科目履修証明書」は、受験申込者自身が作成するものではありません。学長等の証明権限を有する者から発行されたものを提出する必要があります。

大学院用

区分D

修了

公認心理師試験
修了証明書・科目履修証明書
〔公認心理師法施行規則附則第2条に規定する科目〕

フリガナ	シン リ	ハナ コ	生年月日
氏名	(姓) 心理	(名) 花子	
研究科・専攻	〇〇研究科 △△△専攻		(西暦) XXXX年XX月XX日生
入学年月	(西暦) XXXX年XX月	修了年月	(西暦) XXXX年XX月

	大学院における必要な科目	履修	対応する開講科目
I	1 保健医療分野に関する理論と支援の展開	<input checked="" type="checkbox"/>	〇〇〇〇論
	2 福祉分野に関する理論と支援の展開	<input checked="" type="checkbox"/>	△△△△学
	3 教育分野に関する理論と支援の展開	<input type="checkbox"/>	
	4 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	<input checked="" type="checkbox"/>	××××論
	5 産業・労働分野に関する理論と支援の展開	<input type="checkbox"/>	
	上記Iの5科目のうち、履修した科目数	3科目	左記Iの5科目のうち、1を含む3科目以上を履修すること
II	6 心理的アセスメントに関する理論と実践	<input checked="" type="checkbox"/>	▽▽▽▽▽実習、◆◆◆◆論
	7 心理支援に関する理論と実践	<input checked="" type="checkbox"/>	□□□□□論
	8 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	<input checked="" type="checkbox"/>	◇◇◇◇◇論、●●●●論
	9 心の健康教育に関する理論と実践	<input type="checkbox"/>	
	上記IIの4科目のうち、履修した科目数	3科目	左記IIの4科目のうち、2科目以上を履修すること
III	大学院における必要な科目	履修	対応する開講科目
	10 心理実践実習	<input checked="" type="checkbox"/>	〇〇〇〇〇〇実習
	上記IIIの10の履修	1科目	左記IIIの10については、必ず履修する。ただし、施設の分野及び時間数は問わない。

(注) 1 一つの必要科目に対応しているとした開講科目を、他の必要科目に対応する科目として記入することはできません。（「履修」欄は、履修した科目の□に✓点でチェックしてください。また履修していない科目の□を取り消し線で消してください。）

2 本証明書は、受験申込者自身が作成するものではありません。学長等の証明権限を有する者から発行されたものを提出する必要があります。

3 本証明書の記入にあたって、手書きの場合は必ずボールペン又は万年筆を使用してください（消せるボールペンは使用不可）。

上記の者は、当大学院において、大学院における必要な科目と定められた上記科目を修めてその課程を修了したことを証明します。

(西暦) XXXX年 XX月 XX日

所在地 東京都〇〇区〇〇町 ×-×-×

大学名 〇〇〇〇大学大学院

大学代表者氏名 〇〇 〇〇

事務使用欄
※何も記入しないでください。

印

・氏名：フリガナを忘れず記入してください。
 ・生年月日：西暦で記入してください。
 ・研究科・専攻：在籍した研究科・専攻の名称を記入してください。
 ・年度ではなく、入学及び修了した年月を西暦で記入してください。

平成29年9月15日付「文科初第881号・障発0915第9号公認心理師法附則第2条第1項第1号から第4号までに規定する公認心理師になるために必要な科目の取扱いについて」の別表2に記載の各科目ごとの「含まれる事項」を確認の上、記入願います。

証明書の発行日を西暦で記入し、所在地・大学名・大学代表者氏名を記入し、学長等の証明権限を有する者の発行する証明印を押印してください。